

令和 6 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立廿日市西高等学校	校 長	久保陵二	生徒指導主事	松脇 泉
取組事例名	『文化祭における自主性・協調性・創造性の育成』				

1 取組の設定	
取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
○生徒会執行部、文化委員を中心に生徒が自主的に活動する行事にする。 ○自己の役割を果たし、互いの協力関係を強める経験を通して、より良い集団の形成をめざす。 ○部活動・学習活動の成果発表、クラス企画（展示、アトラクション、食品バザー）など、多彩かつ創造的、総合的な教育活動にする。	○集団の中で自ら考えて行動し、周囲とも協働できる生徒の育成。 ○目標を設定し、その実現に向けた活動に挑戦できる生徒の育成。 ○積極的に他者と関わり、貢献意欲をもって行動できる生徒の育成。



2 展開	
取組の具体的内容	取組の創意工夫
○文化祭第 1 部 日時：6 月 11 日（火） 9：00～16：00 場所：さくらびあ大ホール 内容：午前：ダンス部・吹奏楽部（音楽選択者の合唱含む）・軽音楽部によるステージ発表 午後：学習および課外活動成果発表会 書道部の懸垂幕、放送部の司会進行	生徒にめあてをもたせるために生徒会執行部が中心となりテーマを設定し全校生徒で方向性の共有をおこなう。 
○文化祭第 2 部 日時：6 月 15 日（土） 9：00～15：00 会場：本校 内容：展示発表・食品バザー・ ・1 年 ……展示 ・2 年 ……アトラクション・動画 ・3 年 ……模擬店（食品バザー） ※PTA・同窓会も出店 ・部活動・委員会・・・企画展示発表 今年度は体育館を利用して、ダンス部・吹奏楽部・軽音楽部のステージ発表も実施	生徒の意欲を高めるために第 1 部は本格的なホールで開催することで、発表側と観客側双方の意欲向上につながることを狙った。 生徒の頑張りを認め、価値付けるために第 2 部を一般公開にし、保護者・地域の方との交流を通して、生徒が自己肯定感や自己有用感をもてる機会になるようにした。



3 成果と課題
アンケートではほぼ 90%以上の生徒が文化祭を楽しむことができたと答えている。「クラスで協力してものを作るということはあまり行ってこなかったのでもっと楽しく、また、それをたくさんの方々に見てもらい喜んでもらえてよかったです。」という生徒の声があったが、多くの生徒が同様に実感できたのではない。実際、生徒会執行部のリーダーシップが発揮され、受付や美化など各係が献身的に取り組み、各クラスや全体を通して互いに協力する姿勢がみられた。何のために文化祭をやるのかという目的意識の明確化とその共有化が課題である。